



2025年度 履修証明プログラム（科目等履修生）募集要項

（1）履修証明プログラムについて

履修証明プログラムは、社会人等の学生以外の者を対象とした特別の課程です。教育・研究資源を活かし一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムで、目的・内容に応じ総時間数 60 時間以上で設定されています。プログラムの修了者には、学校教育法に基づく「履修証明書（Certificate）」の発行を受けることができるとともに、厚生労働省が定めるジョブ・カードにその旨を記載することができる制度です。

（2）開講プログラム

2025 年度は、「精神・発達障害者の就労と生活支援」「認知症とともに生きるを支える」「アディクションと生きる人への理解とかかわり」「災害ソーシャルワークの実践と展開」の 4 コースを開設します。

（3）プログラムの修了要件

プログラムの修了には、受講期間内に総時間数 60 時間以上を修了し、各科目の試験に合格することが必要です。受講期間を超えて在学することはできません。

（4）出願資格

以下のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
- ③ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者

(5) 出願期間

出願書類の受付は、以下のとおりです。

a 期出願期間	2024 年 12 月 1 日（日）～ 2025 年 1 月 20 日（月）（消印有効）
合格発表	2025 年 2 月 7 日（金） ※発送日となりますので、お手元に届くまでに数日かかる場合があります。
講義資料等発送予定日	2025 年 4 月上旬

b 期出願期間	2025 年 1 月 21 日（火）～ 2025 年 2 月 28 日（金）（消印有効）
合格発表	2025 年 3 月 19 日（水） ※発送日となりますので、お手元に届くまでに数日かかる場合があります。
講義資料等発送予定日	2025 年 4 月中旬

c 期出願期間	2025 年 3 月 1 日（土）～ 2025 年 3 月 31 日（月）（消印有効）
合格発表	2025 年 4 月 18 日（金） ※発送日となりますので、お手元に届くまでに数日かかる場合があります。
講義資料等発送予定日	2025 年 5 月上旬

d 期出願期間	2025 年 4 月 1 日（火）～ 2025 年 8 月 31 日（日）（消印有効）	
願書提出日	出願月の 1 日～ 15 日	出願月の 16 日～ 31 日
合格発表	出願月の 25 日※	出願月翌月の 10 日※
講義資料等発送予定日	合格発表より 2～3 週間後（目安）	

※2025 年 4 月 1 日（火）～ 2025 年 4 月 15 日（火）の期間に願書を提出された方の合格発表は 2025 年 5 月 2 日（金）になります。

※2025 年 4 月 16 日（水）～ 2025 年 4 月 30 日（水）の期間に願書を提出された方の合格発表は 2025 年 5 月 15 日（木）になります。

※出願期によっては受講できないスクーリング科目がありますので、ご注意ください（詳細は「⑥カリキュラムおよび受講料」参照）。

※合格発表は発送日となりますので、お手元に届くまでに数日かかる場合があります。

※出願期間中であっても、定員に達し次第受付終了となります。

※願書提出日により、受験可能試験期が異なります。試験期の詳細については、[2025 年度科目修了試験日程] をご参照ください。

※オンデマンド科目は 4 月以降視聴できます。b 期以降出願の方は入金を確認後、視聴することができます。

(6) 選考方法

入学選考

出願書類により書類選考を行います。筆記試験はありません。

※合否に関するお問い合わせには、一切応じません（合否の通知が無い場合は除く）。

(7) 学費等

- ① 入学選考料 10,000 円 ※出願者本人の名義で納入してください。
※学費減免の方は、振込不要です。

【入学選考料振込先】※振込手数料は各自でご負担願います。

三菱UFJ 銀行 タケトヨ 武豊支店 普通 1542132 ガッコウホウジンニホンフクシダイガクツウシンニュウシグチ 学校法人日本福祉大学通信入試口

② 2025 年度学費

項 目	金 額	備 考
入学金	10,000 円	
科目等履修生登録料	初年度 25,000 円	2 年目は、科目等履修生継続料として 25,000 円／年が必要です。
受講料	科目により異なる	受講料の詳細はプログラムの「⑥カリキュラムおよび受講料」参照

各プログラムの履修・学費モデルをご参照ください。

③ 学費等の減免

以下に該当する方は、入学選考料および入学金の減免対象となります。申請方法については、別紙『①－2 入学志願書』『③推薦状』を参照してください。

学費等の減免対象者	選考料	入学金
日本福祉大学の卒業生（通信教育課程正科生、大学院、中部社会事業短期大学、女子短期大学部を含む）	無料	無料
日本福祉大学附属立花高等学校、立花高等学校および日本福祉大学付属高等学校の卒業生		
日本福祉大学中央福祉専門学校および中央総合福祉専門学校、日本福祉大学高浜専門学校の卒業生		
日本福祉大学（通学課程・通信教育課程正科生、大学院、中部社会事業短期大学、女子短期大学部）に1年以上在籍していた方、または日本福祉大学通信教育課程科目等履修生・特修生として在籍していた方		減免なし (10,000円)
日本福祉大学同窓会会員・準会員（教職員・本学在学生等 [*] ）に推薦された方 ※本学所定用紙『③推薦状』の提出が必要です。 ※「本学在学生」とは、通信教育課程正科生、通学課程、大学院課程に在学している学生すべてを指します（科目等履修生・特修生や、推薦者と同一年度の入学者は対象としません）。「教職員」とは、退職された方も対象となります。		半額

※ソウェルクラブ(社会福祉法人福利厚生センター)の会員の方(本人のみ)を対象とした減免(選考料:無料、入学金:半額)もあります。詳しくは、ソウェルクラブホームページをご確認ください。

(8) 出願書類

出願書類は、黒ボールペンを使用し、各項目を不備や記入漏れのないよう作成してください。

	書類	書類番号	書類
必須	本学所定様式 ※巻末資料	① -1 ① -2 ① -3	2025 年度履修証明プログラム（科目等履修生）入学志願書（学籍原簿）・在学誓書 - 写真欄に証明写真（裏面に氏名を記入）を貼付してください。 ※ 4cm × 3cm、正面上半身、無帽、無背景で、3 ヶ月以内に撮影のもの。 - 現住所欄には住民票に記載の住所ではなく、<u>本学よりお送りする郵便物を受け取れる住所をご記入ください。</u> - 職種コードおよび続柄コードは、「(10)「入学志願書・在学誓書」に記載する職種コードおよび続柄コード」を参照してください。 - 入学選考料を納付し、払込を証明する払込受付証明書・受領書等を貼付してください。 ※出願者氏名、振込日付、振込金額・振込先が記載されていること。 ※学費減免の方は、振込不要です（振込受付証明書・受領書の貼付は必要ありません）。
		② -1 ② -2 ② -3 ② -4	2025 年度履修証明プログラム（科目等履修生）履修科目登録表 - 受講を希望する科目に○を記入してください。 - 提出後は変更できません。不備のないよう記入してください。 （開講科目については「科目概要」参照）。
		—	入学資格証明書類 高等学校等の卒業証明書（高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定の合格証書を含む）、もしくは高等教育機関（専門学校、短期大学以上）の卒業・修了証明書（発行 6 ヶ月以内・コピー不可）をご提出ください。ただし、大学院の証明書ではご出願いただけません。 ※外国の学校をご卒業の場合、出願前に入学資格の確認を行います。 日本語表記か英語表記の「成績証明書」「卒業証明書」のコピーを郵送、メール添付などで通信教育部事務室までお送りください。それ以外の外国語の場合は、大使館などの公的機関で証明を受けた翻訳文を添付してください。連絡の際は、「入学資格確認希望」とし、氏名、連絡先を必ず記載してください。
		—	郵便はがき 宛名側に出願者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、切手を貼付してください。
該当者のみ	ご自身で準備 いただく書類	—	姓名変更を証明する書類 ① -1 に記載した氏名と、ご自身で準備いただく各提出書類に記載された氏名が異なる場合は、姓名変更を証明する書類（戸籍抄本（発行 6 ヶ月以内・コピー不可）、旧姓および現在の姓名の両方が記載されている有効期限内の運転免許証（表裏両面）や保険証のコピー等）を提出してください。
		—	学費等の減免対象であることを証明する書類 本学を卒業した、もしくは在籍していた証明として、以下の中から 1 点を提出してください。 在籍期間証明書、成績証明書、卒業証明書、修了証明書、もしくは次のもののコピー [卒業証書（学位記）、学生証、科目等履修生証、特修生証、同窓会カード]
	本学所定様式	③	2025 年度 推薦状 日本福祉大学同窓会会員・準会員（教職員・本学在学学生等）の推薦がある場合は、本学所定用紙を推薦者に記入いただき提出してください。

【注意事項】

- 一度ご提出された出願書類は返還しません。
- 出願書類受付後であっても、出願資格及び出願書類に誤りや虚偽等があった場合は、出願を取り消す場合があります。
- 出願書類に不備がある場合は受付できませんので、くれぐれもご注意ください。

A4 サイズの封筒に宛名ラベルを糊付けのうえ、書類を折らずに封入し、郵送してください。

不着等の事故防止のため、必ず「速達・簡易書留」で郵送してください。

(9) 手続きの流れ

① パソコン環境の準備確認

- ・学習に必要な環境が整っているかをご確認ください。
[学習に必要な情報端末や通信の環境] 参照

② 出願書類の作成 入学選考料 (10,000円)の納入

※学費減免対象の方は、振込不要です

- ・出願書類の詳細は「(8) 出願書類」にてご確認ください。
 - ・入学選考料を納入してください（出願書類に振替払込受付証明書もしくは、受領書の貼付が必要です）。
- ※出願者本人の名義で納入してください。

【振込先】

三菱UFJ銀行 タケトヨ シ テン 武豊支店 普通 1542132
ガッコウホウジンニホンフクシダイガクツウシンニュウシグチ
学校法人日本福祉大学通信入試口

- ・記載内容について、メールで確認することがあります。
- E-MAIL アドレスをお持ちの方は、『①-1 入学志願書（学籍原簿）・在学誓書』内の E-MAIL 欄にご記入をお願いします。

※本学よりメールにてご連絡させていただく場合があります。メールのドメイン設定にて「@ml.n-fukushi.ac.jp」より送信されるメールを受信許可してください。

③ 出願書類の提出

【提出先】

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田
日本福祉大学通信教育部事務室 履修証明プログラム担当 宛

不着等の事故防止のため、必ず「速達・簡易書留」で郵送してください。

※ A4 サイズの封筒に宛名ラベルを糊付けのうえ、書類を折らずに封入し、郵送してください。

- ・一度ご提出された出願書類は返還しません。
- ・出願書類受付後であっても、出願資格及び出願書類に誤りや虚偽等があった場合は、出願を取り消す場合があります。
- ・書類に不備がある場合は、受付できませんので、くれぐれもご注意ください。

入 学 選 考

書類選考を行います。

④ 受講手続き

選考結果の通知・学費の振込

- ・受講を許可された方には、「選考結果通知」「学費の振込用紙」を送付します。
 - ・送付された「振込用紙」を使用して、金融機関の窓口から学費（入学金・受講料等）を指定期間内にお振り込みください。
- ※入学選考料とは振込口座が異なりますので、ATM やインターネットバンキングから振込みされる場合はご注意ください。

⑤ 学習開始・講義資料配付

- ・学習システム【nfu.jp】にログインし、学習を開始してください。
- ・「選考結果通知」から約 2～3 週間後（a・b 期は 4 月上旬）に「履修証明プログラム（科目等履修生）証」と講義資料等を「現住所」にご記入いただいた住所へお送りいたします。

※勤務先には送付できませんのでご注意ください。

※「入学志願書（学籍原簿）・在学誓書」の現住所欄には、住民票に記載の住所ではなく、本学からお送りする郵便物が受け取れる住所を必ずご記入ください。

納入期限までに学費の振り込みが行われなかった場合は、入学の意思がないものとみなし、入学資格は取り消しとなります。なお、納入期限後の入金には認められませんので予めご了承ください。

(10) 「入学志願書・在学誓書」に記載する職種コードおよび続柄コード

職種コード

■教員（講師含む）	■医療・福祉	H 4：ケアマネジャー	L 2：農業協同組合職員
B 1：幼稚園教員	F 1：医師	H 5：保育士	L 3：生活協同組合職員
B 2：小学校教員	F 2：看護師	H 6：その他の医療・福祉従事者	L 4：その他団体職員
B 3：中学校教員	F 4：医療事務従事者	H 7：保育教諭	N 1：自営業（代表者）
B 4：高等学校教員	F 5：医療ソーシャルワーカー		N 2：農林漁業従事者
B 5：専門学校教員	F 6：精神科ソーシャルワーカー	■会社員	N 3：主婦・主夫
B 6：大学教員	F 7：その他医療従事者	J 1：役員・管理職	N 4：無職
B 7：その他教員	F 8：理学療法士	J 2：事務職	N 5：アルバイト・パート
B 8：教員以外の学校職員	F 9：作業療法士	J 3：営業職	N 6：その他
■公務員	H 1：社会福祉施設・団体等代表者	J 4：専門職	■学生
D 1：国家公務員	H 2：相談員・指導員	J 5：その他の会社員	P 1：大学・大学院生
D 2：地方公務員	H 3：介護職員	■その他	P 2：短大生
D 3：その他の公務員		L 1：社会福祉協議会職員	P 3：専門学校生
			P 4：その他学生

続柄コード

01：父母	02：兄弟姉妹	03：祖父母	04：叔父叔母	05：配偶者・他の親類
06：知人	07：引受人	08：その他		

(11) 学習上の注意

- インターネットを活用した学習システムで学んでいただくため、インターネットを利用できるパソコンが必要です（オンデマンド科目の視聴のみ、スマートフォンおよびタブレットなどのデジタル端末で視聴可能です）。
- ※詳細は、「学習に必要な情報端末や通信の環境」を参照してください。
- 一部のオンデマンド科目には別途講義資料等を配付します（講義資料がなくても、学習はすすめられます）。
- 履修証明プログラム（科目等履修生）は、正規の本学科目等履修生としての学習となります。他の受講生の迷惑となる行為、スクーリングの進行を妨げる行為があった場合等には、学則に従い、受講を取り消す場合があります。
- 学割の使用はできません。

【障がいのある方の出願について】

障がい、疾病、その他により、学習上の配慮が必要な場合は、あらかじめ支援の内容をご理解いただいたうえで、ご出願いただきますようお願いしています。出願前に本学で提供できる支援の内容について、大学から確認の連絡をさせていただくため、出願の1か月前までに「障がい状況票」を電子メールまたはFAX、郵送でご提出ください。

（様式の入手方法）

- 「障がい状況票」と「障がい学生のための学習の手引き」は、日本福祉大学履修証明プログラム（科目等履修生）ホームページの「パンフレット・募集要項等ダウンロード」ページよりダウンロードしてください。



学習に必要な情報端末や通信の環境

＜全体注意事項＞※ 2024 年 11 月現在

※最新の OS・ブラウザに対しては、随時動作確認を実施する予定です。最新の情報はホームページをご確認ください。

※在学期間中のみ、Microsoft 365 Apps を無償で利用可能です。詳細は（4）在学期間中の Microsoft 365 Apps 無償提供についてをご参照ください。

※新たにパソコンやモバイル端末の購入をお考えの方は、最新の情報をホームページでご確認の上、お近くのパソコンショップにご相談ください。

(1) ネットワーク環境

通信回線速度	ブロードバンド回線（3Mbps 以上）
--------	---------------------

※移動体通信（LTE、モバイル Wi-Fi 等）や Wi-Fi スポットは回線トラブルが多いため、履修登録、科目修了試験は自宅の有線・無線 LAN などの安定した環境下において実施することを推奨します（移動中の車内などの不安定な環境下では実施しないでください）。

※企業ネットワークや学内ネットワーク、また一部プロバイダなどでは、セキュリティの関係で動作しない場合があります。また、各個人で導入されているセキュリティソフトや Firewall 機能を備えたルータなどの通信機器では、難易度の高い設定が必要な場合があります。

(2) パソコン動作環境

OS 共通仕様		
ハードウェア	画面解像度	1366 × 768 ドット以上
	CPU	デュアルコア 1GHz 以上（複数のアプリを同時に利用する際にはデュアルコア 2GHz 以上（core i3 / i5 / i7 相当）が搭載されていると快適に動作可能）
	メモリ	8GB 以上（複数のアプリを同時に利用する際には 16GB 以上搭載されていると快適に動作可能）
	ストレージ	64GB 以上（256GB 以上推奨）
	その他	Web カメラ、マイク、スピーカー
ソフトウェア	・ Microsoft 365 Apps（PC インストール版） （Excel/Word 2019、2021、2024（予定）についても動作を保証する） ・ Adobe Acrobat Reader DC（無償）以上 ※在学期間中は Microsoft 365 Apps を無償で利用できます	
OS 別仕様		
OS	ブラウザ	
Windows 11	Microsoft Edge、Chrome	
macOS13（Venture） macOS14（Sonoma） macOS15（Sequoia）（予定）	日本語 Safari	

※一部のオンデマンド科目の学習にあたっては、お使いのパソコンにおいて必要な動作環境（OS、ソフトウェア、音源機能等）がある場合もあります。科目ホーム等を参照して準備してください。

※本学からの連絡に PDF ファイルを添付する場合がありますので、必要な動作環境をご準備ください。

(3) モバイル端末（スマートフォン、タブレット等）動作環境

機種	OS	ブラウザ
iPhone / iPad	iOS18 系（予定）、iPadOS18 系（予定）	日本語 Safari
Android	10 系 / 11 系 / 12 系 / 13 系 / 14 系 / 15 系（予定）	日本語 Google Chrome

※履修登録、科目修了試験は、モバイル端末では実施できません（タブレットでは、履修登録、科目修了試験等のボタンが表示されますが、動作保証範囲外です）。必ずパソコンで実施してください。

※ご利用のモバイル端末の接続環境や機種等によっては、正常に動作しない場合があります。

※携帯電話通信網（3G / 4G（LTE） / 5G 等）は、その利用月のデータ通信量が一定量を越えると通信制限が発生し、通信速度が遅くなる場合がありますので、ご注意ください。詳細については、契約している回線業者にお問い合わせください。

(4) 在学期間中の Microsoft 365 Apps 無償提供について

本学では全学生を対象として Microsoft 365 Apps を無償で提供しています。Microsoft 365 Apps には授業に必要な Microsoft（Word、Excel、Power Point）が含まれています。入学時に新たにパソコンを購入される場合は、関連するソフトを購入していただく必要はありません。

※ Microsoft 365 Apps の無償提供について

- ①パソコン（Windows または Mac）、スマートフォン、タブレットにおいてそれぞれ5台（計15台）までインストール可能です。
- ②在学期間中のみ利用可能です（卒業後は利用できません）。

(5) オンライン（Zoom 等の Web 会議システム）の利用について

本学ではオンライン（Zoom 等）で講義や説明会等を実施しています（例：スクーリング科目の一部、履修登録説明会）。Zoom とはパソコンやスマートフォン、タブレットなどを通して複数人でのビデオ通話を可能にするサービスです。

利用にあたり、お使いのパソコンに「Web カメラ」「マイク」「スピーカー」の装備が必要となります。パソコンに内蔵されていない場合は、外付機器でも対応可能です。その他必要な動作環境については（2）パソコン動作環境をご参照の上、利用環境の整備をお願いいたします。

本学正科生へ入学する場合の単位認定について

履修証明プログラム修了後に、本学正科生への出願を希望する方は修得科目を単位認定することが可能です。修得した単位は、後に正科生として入学した場合、一定の上限まで卒業単位として認められます。認定される単位数は以下のとおりです。

入学・編入学年	科目等履修生・特修生で取得した単位の上限
1 年次入学	「既修得による単位認定（30 単位まで）」と合わせて 60 単位まで
2 年次編入学	30 単位まで
3 年次編入学	30 単位まで
4 年次編入学	14 単位まで

※資格試験合格等による単位認定（入学後に申請）の単位数を含みます。
詳細は「日本福祉大学通信教育部 出願手続要項」をご確認ください。

認定単位数について

(1) 精神・発達障害者の就労と生活支援

科目名	単位数
精神障害者支援論	2 単位
アディクションとソーシャルワーク	2 単位
発達精神病理学	2 単位
権利擁護と成年後見	2 単位
精神障害者と福祉実践Ⅰ	2 単位
精神障害者と福祉実践Ⅱ	2 単位
スクールソーシャルワークと学校現場	2 単位
司法と福祉の連携とソーシャルワーク	2 単位
社会保障の制度と課題	2 単位
基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	2 単位
多様なニーズに応える特別支援教育	2 単位
精神・発達障害者の理解と共働	2 単位

(2) 認知症とともに生きるを支える

科目名	単位数
認知症の医療とケア	2 単位
高齢者福祉	2 単位
権利擁護と成年後見	2 単位
精神障害者支援論	2 単位
ケアマネジメント入門（2025 年度休講）	2 単位
認知症ケアと多職種連携	2 単位
認知症の人と地域包括ケア	2 単位
高齢者の心理（注 1）	2 単位
死生学（注 1）	2 単位

(3) アディクションと生きる人への理解とかかわり

科目名	単位数
アディクションとソーシャルワーク	2 単位
ソーシャルワークの理論と方法（精神）	4 単位
精神障害者支援論	2 単位
アディクション領域における経験を有する援助者の支援論	2 単位
精神障害者と福祉実践Ⅰ	2 単位
精神障害者と福祉実践Ⅱ	2 単位
司法と福祉の連携とソーシャルワーク	2 単位
アディクションと生きる社会を考える	2 単位
精神医学からみたアディクション（注 1）	2 単位

(4) 災害ソーシャルワークの実践と展開

科目名	単位数
地域福祉と包括的支援体制	4 単位
ヒューマンケアのための多職種連携	2 単位
ふくしと減災コミュニティ	2 単位
福祉現場の人材養成（2026 年度休講）	2 単位
単身世帯と社会政策	2 単位
地域福祉と災害ソーシャルワーク	2 単位
被災者支援と福祉防災に向けた実践演習	2 単位
環境論（注 1）	2 単位
災害復興のための制度と法（注 1）	2 単位

（注 1）履修証明プログラムの時間数の合計には含まませんが、履修を推奨する科目です

詳細は「日本福祉大学通信教育部 出願手続要項」をご確認ください。

精神・発達障害者の就労と生活支援

① プログラムの目的

厚生労働省が3年に1回実施している2020年の患者調査によると、精神疾患を有する人は、約614万人となっている。人口比で言うと、0歳児から高齢者までを含め、現に精神疾患により医療機関を受診している者は、20人に1人ということになる。一方で、2004年に厚生労働省が発表した「こころのバリアフリー宣言」には、5人に1人が精神疾患にかかると記されているのである。つまり、現に精神疾患に罹患している人は、20人に1人であり、生涯にわたると、5人に1人というように、高い割合を示している。

また、発達障害については、2004年に発達障害者支援法ができると共に、2011年に障害者基本法において、「精神障害（発達障害を含む）」と明確に規定されることになった。このこともあり、年々高い関心が示されるようになってきている。加えて、文部科学省（2022）からは、小中学生のうち、8.8%が発達障害の可能性がある、というような報告もある。

しかしながら、精神障害や発達障害は、他者との関係性のなかで、生きづらさが大きくもなれば、小さくもなると言える。そのことから、障害を有していることを表明せずに暮らしを継続している人も少なくない。

このような現状のもと、精神・発達障害は、見た目や経験則では、障害による特性がわかりづらいついといえる。一方で、特性がその人に占める割合は、決して大きくはない。特性もさることながら、人としての当たり前の喜怒哀楽をはじめとする共通性を知ることこそが意義深いといえる。まずは、人ありきである。そのうえで、特性への理解を深めることによって、本当の意味での当事者理解と共に、共生社会に近づくことになると言えよう。

本プログラムでは、精神・発達障害のある人が、ごく当たり前に暮らすに当たって、就労支援をはじめとする、いかなる生活支援が必要かについて理解を深めることを目指す。具体的には、暮らしにおいて、どのような要素が求められると共に、周囲のかかわりとして、いかなる事柄が必要となるのか。これらのことについて、考察をすることが本プログラムの目的である。

② 担当者 青木聖久

③ 受講対象者

社会場面（職場、地域活動等）において、精神・発達障害者の生活支援（就労支援を含む）について、現にかかわりのある人、及び、近いうちに具体的にかかわる予定のある人とする。

④ 募集定員 20名 ※定員に達し次第受付を終了します。

⑤ 受講期間

2025年4月1日（火）～2027年3月31日（水）【最長2年間受講可能】

※2年目は継続料（25,000円／年）および履修する科目の受講料が必要です。

※プログラムの修了には、受講期間内に総時間数60時間以上を修了し、各科目の試験に合格することが必要です。

2年を超えて在学することはできません。なお、開講科目の履修は1年ごとに行います。

⑥ カリキュラムおよび受講料

下記の科目から必修科目を含む合計 60 時間以上を履修すること

	科目名	担当教員	開講形態	時間数(h)	受講料(円)	開講日	開講地	会場
必修	精神障害者支援論	青木聖久	O	11.25	12,400	—	—	—
選択	アディクションとソーシャルワーク	田中和彦	O	11.25	12,400	—	—	—
選択	発達精神病理学	牧真吉	O	11.25	12,400	—	—	—
選択	権利擁護と成年後見	鷺野林平	O	11.25	12,400	—	—	—
選択	精神障害者と福祉実践Ⅰ	青木聖久	S	17.5	17,400	5月17日(土)～5月18日(日) ※4月16日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館
						10月11日(土)～10月12日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル
選択	精神障害者と福祉実践Ⅱ	田中和彦	S	17.5	17,400	7月26日(土)～7月27日(日) ※7月1日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館
						11月1日(土)～11月2日(日)	オンライン	Zoom
選択	スクールソーシャルワークと学校現場	安藤健一	S	17.5	17,400	7月5日(土)～7月6日(日) ※6月16日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	明治安田生命名古屋ビル
						11月22日(土)～11月23日(日)	高松	香川県社会福祉総合センター
選択	司法と福祉の連携とソーシャルワーク	鷺野明美	S	17.5	17,400	9月13日(土)～9月14日(日) ※8月16日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom
						11月1日(土)～11月2日(日)	東京	ビジョンセンター東京京橋
選択	社会保障の制度と課題	李忻	S	17.5	17,400	6月21日(土)～6月22日(日) ※6月1日以降に出願の方は申込できません。	東京	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル
						7月26日(土)～7月27日(日) ※7月1日以降に出願の方は申込できません。	福岡	福岡県中小企業振興センター
選択	基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	小野尚香	S	17.5	17,400	7月5日(土)～7月6日(日) ※6月16日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom
						10月4日(土)～10月5日(日)	大阪	新大阪丸ビル別館
						1月10日(土)～1月11日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル(予定)
選択	多様なニーズに応える特別支援教育	小野尚香	S	17.5	17,400	5月24日(土)～5月25日(日) ※5月1日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	明治安田生命名古屋ビル
						9月6日(土)～9月7日(日) ※8月15日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom
						9月20日(土)～9月21日(日) ※9月1日以降に出願の方は申込できません。	神戸	神戸ファッションマート
必修	精神・発達障害者の理解と共働(注1)	青木聖久	S	17.5	27,400	1月17日(土)～1月18日(日)	名古屋	ウイंकあいち

(注1) 履修要件有、クラス制開講科目

※**必修**：必修科目 **選択**：選択科目

※開講形態 O：オンデマンド科目(e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1日目9：00～19：40、2日目9：00～18：25

「精神・発達障害者の理解と共働」を受講するには、以下の履修要件を満たす必要があります。

1. 社会場面（職場、地域活動等）において、精神・発達障害者の生活支援（就労支援を含む）について、現にかかわりのある人、及び、近いうちに具体的にかかわる予定のある人を対象とする。
2. 指定された期日までに「精神・発達障害者と共に働く意義と課題について」A4用紙1枚程度（字数は問わない）にまとめて提出すること。
※期日については、入学後に別途掲示します。

<履修・学費モデル>（科目選択の一例）

科目名	開講形態	時間数(h)	受講料(円)	受講料 (入学選考料・入学金は含みません)
必修 精神障害者支援論	O	11.25	12,400	77,000 円 } 198,800 円 ※選択する科目によって異なります。 ※別途、科目等履修生登録料(25,000 円/年)がかかります。
選択 アディクションとソーシャルワーク	O	11.25	12,400	
選択 発達精神病理学	O	11.25	12,400	
選択 権利擁護と成年後見	O	11.25	12,400	
必修 精神・発達障害者の理解と共働	S	17.5	27,400	
	計	62.5	右記を参照	

⑦ 2025 年度科目修了試験日程

春期試験	受験可能時間…10:00 ～ 21:00		試験結果通知日：7月4日(金)
第1週目	試験申込期間：2025年4月1日(火)～6月2日(月)		
6月8日(日)	精神障害者支援論		
第2週目	試験申込期間：2025年4月1日(土)～6月9日(月)		
6月15日(日)	権利擁護と成年後見	アディクションとソーシャルワーク	発達精神病理学

夏期試験日	受験可能時間…10:00 ～ 21:00		試験結果通知日：9月3日(水)
第1週目	試験申込期間：2025年7月7日(月)～7月28日(月)		
8月2日(土)	アディクションとソーシャルワーク		
8月3日(日)	権利擁護と成年後見		
第2週目	試験申込期間：2025年7月7日(月)～8月4日(月)		
8月9日(土)	精神障害者支援論	発達精神病理学	

秋期試験日	受験可能時間…10:00 ～ 21:00		試験結果通知日：12月12日(金)
第1週目	試験申込期間：2025年10月1日(水)～11月4日(火)		
11月8日(土)	権利擁護と成年後見		
11月9日(日)	アディクションとソーシャルワーク		
第2週目	試験申込期間：2025年10月1日(水)～11月10日(月)		
11月16日(日)	精神障害者支援論	発達精神病理学	

冬期試験日	受験可能時間…10:00 ～ 21:00		試験結果通知日：2026年3月2日(月)
第1週目	試験申込期間：2025年12月13日(土)～2026年1月26日(月)		
1月31日(土)	精神障害者支援論		
2月1日(日)	権利擁護と成年後見	発達精神病理学	
第2週目	試験申込期間：2025年12月13日(土)～2026年2月2日(月)		
2月7日(土)	アディクションとソーシャルワーク		

※この試験時間割は予定です。都合により変更となることがあります。

※試験は科目ごとに年4回行われ、いずれかの試験時期を選ぶことができます。棄権や不合格だった場合は、次回以降、1回のみ再受験の機会がありますが、冬期試験が初めての受験の場合は、再受験は認められません。試験を受験し、1回合格すれば、年度末に時間数が認定されます。

※1科目の実施時間は60分間です。試験を開始してから60分経った時点で自動的に提出、終了となります。

※スクーリング科目の科目修了試験はすべて、後日にレポートを提出していただきます。

科目概要

必：必修科目です。

【精神・発達障害者の就労と生活支援】

※科目概要の内容は2024年度時点のものとなります。2025年度の内容への更新は1月上旬を予定しています。

科 目 名	精神障害者支援論	必	単 位 数	2 単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	青木聖久		

テーマ

精神障害者が社会においてよりよく暮らすにあたって、その支援のあり方を学ぶ

科目のねらい

本講義では、精神障害者が社会において、よりよく暮らすにあたって、その支援のあり方を学ぶものである。ちなみに、2011年の障害者基本法の改正において、発達障害者が精神障害者の中に含まれることになった。そのことから、本科目で精神障害者と言う場合、発達障害者も含むものである。まず、精神障害者がいかなる社会的支援を活用することによって、等身大の暮らしが実現するかについて考える。とはいえ、「精神障害者」という用語そのものが多様な解釈がなされることから、障害による特徴や課題を提示する。また、精神障害の有無に限らず、人が生き生きと暮らすにあたって、「働く」ということが重要となるため、その関係を示しつつ、一方で、就労支援等についても実践的に迫る。さらに、社会保障制度、とりわけ経済的支援について、生活支援にからめつつ、具体の諸制度を紹介しながら、精神障害者の暮らしについて検討する。そして、精神障害者の「働く」を含めた暮らしの実際の経済的支援等を通して、生活支援とは何か、を明らかにすることが本講義の目的である。

●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行う。

科 目 名	アディクションとソーシャルワーク	単 位 数	2 単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	田中和彦		

テーマ

アディクションからの回復とのためのソーシャルワークについて考察を深めていく。

科目のねらい

「何かに依存している」という言葉は、ネガティブな印象をもって語られることが多く、支援の現場においても表面的な問題の対処に苦慮し、結果として医療・保健・福祉の領域で「依存症は難しい」「依存症にはかわりたくない」という忌避感情の強い現状がある。しかしアルコール健康障害対策基本法施行（2014年）、薬物使用等の罪を犯した者に対する刑の一部執行猶予に関する法律施行（2016年）、ギャンブル等依存症対策基本法（2018年）、精神保健福祉士養成課程の養成の在り方等に関する検討会中間報告書における依存症支援体制整備の必要性（2019年）というように、依存症対策及び依存症への支援の必要性は広がりを見せ、ソーシャルワークにおいても実践の質の向上が急務である。本講義では依存症をアルコールや薬物の物質依存にとどまらず、行動嗜好を含んだより幅広い概念である「アディクション」ととらえ、アディクションに対するソーシャルワークの視点とアセスメント、支援の方法について講義し、アディクションからの回復と回復へのかかわりについて考察を深めていく。

●精神科医療機関（診療所）で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉とソーシャルワークに関する講義を行う。

科 目 名	発達精神病理学	単 位 数	2 単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	牧 真吉		

テーマ

心の発達を理解することにより、自閉スペクトラム症を理解してその発達に付き合える。かつ、アタッチメントの発達がうまくできていないことの理解を深める。

科目のねらい

発達障害という言葉が、世の中に広がっている。それを脳の障害と考えてしまうことによる思考停止が、対応を考えることに悪影響を与えてしまった。よく見ていくと、発達の遅れと考えることで理解できることが多い。発達の遅れは、多くはバラツキによるものであり、必ずしも病的現象ではない。身長や体重の違いを病気にして理解しないことと同じである。ただ、こころの育ちは遅れを認めてもえられないことによって新たな負荷を受けることになる。そのことによる二次的な現象が起きてしまう。こうしたことを理解しながら付き合うことによって成長を認めることができる。その子自身の発達に丁寧につき合うことが、今求められていることである。こうしたことを講義を通して理解することが狙いである。

科 目 名	権利擁護と成年後見	単 位 数	2 単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	鷺野林平		

テーマ

ソーシャルワーカーとして、判断能力の不十分な認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の権利を代弁する役割、手段・方法について、日本国憲法の基本原理、民法、行政法、社会法等の関わりの中で理解する。

科目のねらい

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分な方々の権利擁護を考えるにあたり、日本国憲法の下に存在する様々な法律の関わりがあることを知り、また、成年後見制度、虐待防止法等の権利擁護の法制度が複合的な支援システムとして位置づけられていることを明らかにしていく。さらには、関係機関の役割、具体的な事例を通して、権利擁護の現状と課題について理解する。

科 目 名	精神障害者と福祉実践Ⅰ	単 位 数	2 単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	青木聖久		
テーマ 当事者の生の声等を通して、精神障害者のことを理解すると共に、社会福祉実践について学ぶ					
科目のねらい 本科目では、統合失調症を中心にして、精神障害者のことを様々な側面から知ることを目指す。そこで、精神障害者や家族が、これまでどのようなプロセスを辿り「いま・ここに」いるのかや、いかなる社会的背景のなかで暮らしているのかについて、着眼する。また、精神保健福祉士が、どのような魅力と可能性を有する専門職であるのかについても、第一線で活躍している者の話等を通して、理解を深めることを目指すものである。さらに、「自分が精神保健福祉士になる・精神保健福祉士を活用する」等、様々な「自分及び自分たちができること」について考える機会とする。そして、精神障害者や家族に対する実践的な支援のあり方について学ぶことを目的とするものである。 ●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行う。					
科 目 名	精神障害者と福祉実践Ⅱ	単 位 数	2 単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	田中和彦		
テーマ 当事者、実践者、科目担当者の講義等を通して、メンタルヘルス課題におけるソーシャルワーク実践への理解を深める					
科目のねらい 本科目は「精神障害者と福祉実践Ⅰ」の発展科目である。「精神障害者と福祉実践Ⅰ」では、精神障害者の置かれている現状と課題に対する福祉の視座からの理解、そして精神保健福祉士の実践について学んできた。本科目は、さらにウイングを広げ、メンタルヘルスの課題について理解していくとともに、メンタルヘルス課題に対するソーシャルワークがどのようにあるべきかを深めていく。そのことで、メンタルヘルス課題とそれを取り巻く社会のありようを精神保健福祉の共通的な課題として言語化していくとともに、ソーシャルワークの視点を醸成していくことを目指していく。 ●精神科医療機関（診療所）で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉やソーシャルワークに関する講義を行う。					
科 目 名	スクールソーシャルワークと学校現場	単 位 数	2 単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	安藤健一		
テーマ 学校現場で子どもたちの現状を理解し、学校におけるソーシャルワーク実践の基礎知識と意義を理解する					
科目のねらい いじめ、不登校、暴力行為、自殺などが教育現場で生じている問題状況や背景には、子どもの心の問題と複雑に絡み合った環境的な問題がある。いま、子どもたちと環境に働きかけ、それらの問題に取り組むスクールソーシャルワーカーの活躍が期待されている。本講義では、教育の場で生じている諸問題を理解し、学校という生活の場で展開されるソーシャルワークの課題について考え、子どもたちへの支援の必要性を理解する。					
科 目 名	司法と福祉の連携とソーシャルワーク	単 位 数	2 単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	鷺野明美		
テーマ 刑事司法の理念と仕組み、罪に問われた人を支える司法と福祉の連携、ならびに、様々な立場におけるソーシャルワーク実践のあり方について学ぶ					
科目のねらい 近年、罪に問われた高齢者、障がい者等への福祉の支援の必要性和重要性が認識され、司法と福祉の連携による支援が進められている。これに伴い、刑事司法分野等へのソーシャルワーク専門職の配置が進み、新たな領域でのソーシャルワーク実践が行われてきた。罪に問われた人たちの社会復帰を支えるには、これら司法分野のソーシャルワーカーの実践に加え、地域で活動するソーシャルワーカー、さらには、住民、保健・医療・福祉・教育等の関係機関との連携による支援が必要不可欠である。この講義では、刑事司法の理念と仕組み、罪に問われた人を支える司法と福祉の連携、ならびに、様々な立場におけるソーシャルワーク実践のあり方について、ドイツにおける取り組みも参考にしながら学ぶことを目的とする。					
科 目 名	社会保障の制度と課題	単 位 数	2 単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	李 忻		
テーマ 年金保険制度を中心に、社会保障の諸制度が果たしている所得保障の役割について学ぶ					
科目のねらい 年金保険制度が果たしている所得保障の役割について学ぶ。日本の公的年金保険制度の体系、国民年金保険制度及び被用者年金保険制度の仕組みと現状、日本の公的年金保険制度の課題について理解することを目標とする。さらに、今日の社会生活において、高齢年金、障害年金を頼りに生活している人々の現状についても紹介し、公的年金保険制度が果たしている所得保障の役割を理解すると共に年金保険制度の課題について理解を深める。社会保障の諸制度と日本の社会経済の変遷について学ぶ日本は1961年に国民皆保険、皆年金を実現し、本格的に社会保障の諸制度の充実、給付対象者の範囲の拡大、給付レベルの向上などが図られ、福祉国家が実現した。医療保険制度、年金保険制度をはじめとして、どのような社会経済背景の下で、その内容の充実が図られたのか、社会保障の諸制度の充実と社会経済との関係を理解すると共に、少子高齢化及び経済のグローバル化が進んでいる今日の日本においては、どのように社会保障の諸制度の再設計を行うべきか等について理解することを目指す。					

科 目 名	基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	単 位 数	2 単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	小野尚香		
テーマ					
健やかに暮らし生きていくという視点から、発達障害にかかわる理解と支援の基礎を学ぶ					
科目のねらい					
本講義では、健やかに暮らし生きていくという視点から、発達障害にかかわる医学、福祉、心理、教育に対する理解と支援の基礎を学ぶ。特に、マクロレベル、メゾレベル、個人や家族にかかわるミクロ（マイクロ）レベルにおける、発達障害の知見（理解）と支援に留意する。具体的には、発達障害の課題を広く理解していくために、発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症、「第四の発達障害」に関連する児童虐待や愛着障害など）の状態、脳科学を通じた病態生理、制度・政策、現場での支援や保護者支援の方法、そして専門職役割を取り上げて、その現状について事例をあげて検討する。発達障害をめぐる現状には、制度・政策としては共生社会を指向し、支援の在り方だけではなく、人権を重んじ、差別の禁止が謳われるとともに、地域の福祉施設や保育・教育機関、職場においては、発達支援、福祉的支援、教育的支援、就労支援が拡充されてきた。医療機関においても認知療法など様々な療法が取り入れられ、その一方で、家族会や当事者の会の活動もみられる。さらに、世界にも目を向け、発達障害の取り組みについて比較研究の視点から学び、有用な支援モデルについても考察する。					
科 目 名	多様なニーズに応える特別支援教育	単 位 数	2 単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	小野尚香		
テーマ					
障害や病気の子どもに対する特別支援教育、貧困や LGBT（SOGI）に対する教育的支援、そして共生社会について学ぶ。					
科目のねらい					
特別支援教育について基礎から学ぶ。法制度、対象児、その社会的背景、支援・指導の現状、多職種連携による支援の重要性、支援ツールとしての ICF、そして、共生社会における特別支援教育の意味について理解をすすめる。特別支援教育には社会的文化的脈絡―「サラムンカ宣言」、国連採択の「児童の権利条約」や「障害者の権利条約」、WHO 総会採択の ICF（国際生活機能分類）、また、子どもの人権やグローバルな動きなどが織りなされている。また、特別支援教育と関連して、共に育ち特別支援教育について基礎から学ぶ。2007 年、特別支援教育は本格的にスタートし、障害や病気の状態によりニーズのあるすべての子どもを対象としている。その対象児童生徒、法制度（「合理的配慮」）や歴史的経緯、支援・指導の実際、支援ツールとしての ICF、そして、共生社会における特別支援教育の意味について事例を通して学ぶ。特別支援教育に織りなされる構成要素には社会的脈絡がある。「サラムンカ宣言」、国連採択の「児童の権利条約」や「障害者権利条約」、WHO 総会採択の ICF（国際生活機能分類）など、子どもの人権やグローバルな動きも影響を与えている。特別支援教育にはまた、子どもがともに育ち、ともに学び、そして現在の共生社会に対する課題を意識しながら、現在では、インクルーシブ教育システム、基礎的環境整備、合理的配慮を具現化するための取り組みが重ねられている。保護者支援もまた重視されている。いま、支援のかたちは全人的であり包括的であることが求められる。その意味で、海外の事例にも目を向けたい。また、学習上行動上生活上の問題として、貧困や LGBT（SOGI）さらに虐待や愛着障害を背景に、教育的配慮や支援が必要な子どもが存在し、施策や方策が講じられている。以上のように、本講義では、障害、慢性疾患、貧困、LGBT（SOGI）などの「いま」に注目し、教育現場における校内外の教育、福祉、医療、心理専門職や地域の施設との連携による特別支援教育や教育的配慮について、理念と制度と実践を通して理解を深める。					
科 目 名	精神・発達障害者の理解と共働 必	単 位 数	2 単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	青木聖久		
テーマ					
当事者の生の声や科目担当者の講義、さらには、受講生相互の交流等を通して、当事者理解と共働について学ぶ					
科目のねらい					
2013 年の障害者雇用促進法の改正により、2018 年から精神障害者が、法定雇用率の算定基礎に加わるようになった。したがって、段階的に企業の法定雇用率が上昇することから、精神障害者の雇用が喫緊の課題となっている。その一方で、2020 年度のハローワークにおける新規の就職件数は、精神障害者が全障害者のなかにおいて、半数以上を実質的に占めている。とはいえ、精神障害者の職場定着率は、きわめて厳しい状況にある。なお、2011 年の障害者基本法の改正により、発達障害者が精神障害者に含まれるようになった。よって、精神障害者の範囲には、発達障害者、さらには、高次脳機能障害者も含んでいる。他方、近年うつ病等を患いながら、勤務を続ける者や、職場復帰を目指す者も多い。これらのことから、職場で精神・発達障害者と働くことについて、知識や技術を持つことは、重要なこととなる。また、職場管理の立場の者にとっては、法定雇用という側面のみならず、精神疾患を生み出さない会社づくり、という点からも意義深い。以上のことをふまえ、本講義では、各々の学生が主体的参加のもと、まず、テーマについて考え、事前レポートを提出することから始める。そして、グループワークで深めることによって、精神・発達障害者のニーズ把握、共働のあり方等をはかる。また、精神・発達障害を持っている者の生の声を聴く機会も設ける。これらを通して、本講で、職場において精神・発達障害者と共に働くことの意味と意義、さらには、実践的な方法等について学ぶことを目的とする。					
●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行なう。					

出願に関するお問い合わせ先

連絡先	連絡方法
通信教育部事務室	〒 470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 電子メール：tsqa@ml.n-fukushi.ac.jp TEL：0569-87-2932（平日 9:30－17:00）

※本学ホームページに、履修証明プログラム（科目等履修生）に関するQ & Aがありますので、そちらもご確認ください。

※本学よりメールにてご連絡をさせていただく場合がございます。メールのドメイン設定にて「@ ml.n-fukushi.ac.jp」より送信されるメールを受信許可していただきますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

出願者の住所、氏名、その他の個人情報については、以下の目的にのみ利用し、本人の承諾なしに、第三者に開示・提供することはいたしません。

ただし、本学が個人情報保護における安全管理等を十分に確認したうえで、業務委託先に個人情報を開示・提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、この場合においても、個人情報は本学が明示する目的のみに使用し、委託した業務内容を超えて利用することはありません。

（利用目的）

- ・入学試験、合格発表、入学手続き業務に伴う利用
- ・入学後の学務業務に伴う利用
- ・入学試験および入学後に行う各種統計処理に伴う利用
- ・入学後の広報業務（情報提供）に伴う利用

日本福祉大学通信教育部

福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学 通信教育部事務室

TEL：0569-87-2932 FAX：0569-87-2308

URL：<https://www.nfu.ne.jp/>

(R25-000-01)

2025年度 履修証明プログラム(科目等履修生) 入学志願書(学籍原簿)・在学誓書

①-1

日本福祉大学福祉経営学部（通信教育）

学籍番号 (記入不要)	2	5								受験番号 (記入不要)	25
----------------	---	---	--	--	--	--	--	--	--	----------------	----

必要事項を記入してください。該当する以下の箇所に☑をつけてください。

受講希望の履修証明プログラム	☐ 精神・発達障害者の就労と生活支援
	☐ 認知症とともに生きるを支える
	☐ アディクションと生きる人への理解とかかわり
	☐ 災害ソーシャルワークの実践と展開

(誓約内容)

日本福祉大学学長 殿

1. 私は貴大学へ入学のうへは、学則を守り、学生の本分に違反しないことを誓約いたします。
(本学学習システム (nfu.jp) 上での情報伝達を大学からの公式連絡・通知として常時確認します)

証明写真貼付

- 縦 4 cm×横 3 cm
- 正面上半身、無帽、背景なしで3ヶ月以内撮影のもの
- 裏面に氏名を記入して貼付

※本学使用欄【学歴コード】

フリガナ											印 必須	生年月日			
氏 名 (一般的な文字で記入)	姓				名							西暦	年 月 日		
旧字体等での登録を希望する場合はその漢字を記入する	姓				名							性別	男 ・ 女		
ローマ字(大文字)															
現住所	〒				—					国名(海外の場合のみ記入)					
	フリガナ														
連絡先	TEL () —									携帯電話番号 () —					
	E-MAIL () @										※本学よりメールにてご連絡をさせていただく場合がございます。メールのドメイン設定にて「@ml.n-fukushi.ac.jp」より送信されるメールを受信許可していただきますようお願いいたします。				
勤務先	名称										部署名など				
	〒				—										
											TEL () —				
	職種											職種コード			
本人以外の緊急連絡先	フリガナ									続柄	続柄コード	TEL () —			
	氏 名														
学 歴	西暦	年		月		高等学校					卒業	退学	卒業見込		
		年		月							卒業	退学	卒業見込		
		年		月							卒業	退学	卒業見込		
		年		月							卒業	退学	卒業見込		
		年		月		大学入学資格検定または高等学校卒業程度認定試験合格									

保証人記入欄（18歳未満の未成年者のみ要記入・保証人直筆記入）

志願者の在学中の一切の事項について責任を負います。

フリガナ
保証人氏名

〒

保証人現住所

電話番号 ()

印

志願者との続柄

続柄コード

2025年度 履修証明プログラム(科目等履修生)入学志願書(学籍原簿)・在学誓書

①-2

日本福祉大学福祉経営学部（通信教育）

※は記入しないでください。

※学籍番号	25	※受験番号	25
-------	----	-------	----

氏 名	
-----	--

※日本福祉大学での旧学籍番号（学費減免コード1、4の方）

--	--	--	--

【学費減免コード】該当する番号に○を付けてください。

※入学選考料 10,000 円を振込後、証明書・受領書を貼付してください。

0	以下のいずれの学費減免対象にも該当しない方
---	-----------------------

※学費減免対象者の方は、入学選考料の振込は不要です。

1	日本福祉大学（通学および通信教育課程の正科生、大学院、中部社会事業短期大学、女子短期大学部を含む）の在学学生、卒業生
2	日本福祉大学付属高等学校（日本福祉大学附属立花高等学校、立花高等学校を含む）の卒業生
3	日本福祉大学中央福祉専門学校（中央総合福祉専門学校、日本福祉大学高浜専門学校含む）の在学学生、卒業生
4	日本福祉大学（通学課程・通信教育課程正科生、大学院、中部社会事業短期大学、女子短期大学部）に1年以上在籍していた方 日本福祉大学通信教育課程 科目等履修生（幼保特例プログラムも含む）・特修生に在籍していた方
5	日本福祉大学同窓会会員・準会員（教職員・本学在学学生等）に推薦された方は③「推薦状」も提出してください。



【推薦者データ】 推薦状がある場合は必ず記入してください。※科目等履修生は推薦者に該当しません。

氏 名		番 号	同窓会 ID または在籍時学籍番号
-----	--	-----	-------------------

【2025 年度入学選考料振替払込受付証明書貼付欄】 ※コード④に該当する方は必ず貼付してください。

入学選考料(10,000円)振替払込受付証明書・受領書を貼付してください。

学費減免コード①～⑤に該当する方は、入学選考料は無料です（貼付の必要はありません）。

（注1）必要事項 ここに貼付する証明書には以下の項目が記載されていること。

・振込日付・志願者氏名・振込金額（10,000 円）・振込先（学校法人日本福祉大学）

（注2）・ATM の場合 入金手続の際に発行される「受領書」等を貼付してください。

・インターネットバンキングの場合 振り込みを完了したことがわかる画面、（注1）の必要事項が記載されている画面を印刷した用紙を貼付してください。

（注3）入学選考料（10,000 円）のみお振り込みください。学費の支払は別途となります。

【入学選考料振込先】※振込手数料は各自でご負担願います。

三菱 UFJ 銀行 タケトヨ 武豊支店 普通 1542132 ガッコウホウジンニホンフクシダイガクツウシンニウシグチ 学校法人日本福祉大学通信入試口

※本学記入欄

全体✓	1✓	2✓
-----	----	----

2025年度 履修証明プログラム(科目等履修生)履修科目登録表

2-1

※は記入しないでください。

※学籍番号		※受験番号	25
-------	--	-------	----

氏 名	
-----	--

【精神・発達障害者の就労と生活支援】

受講する科目の登録欄に○を付け、合計時間数をご記入ください。

科目名	開講形態	時間数(h)	受講料(円)	開講日	開講地	会場	登録欄
必修 精神障害者支援論	O	11.25	12,400	—	—	—	
選択 アディクションとソーシャルワーク	O	11.25	12,400	—	—	—	
選択 発達精神病理学	O	11.25	12,400	—	—	—	
選択 権利擁護と成年後見	O	11.25	12,400	—	—	—	
選択 精神障害者と福祉実践Ⅰ	S	17.5	17,400	5月17日(土)～5月18日(日) ※4月16日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館	
				10月11日(土)～10月12日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
選択 精神障害者と福祉実践Ⅱ	S	17.5	17,400	7月26日(土)～7月27日(日) ※7月1日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館	
				11月1日(土)～11月2日(日)	オンライン	Zoom	
選択 スクールソーシャルワークと学校現場	S	17.5	17,400	7月5日(土)～7月6日(日) ※6月16日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
				11月22日(土)～11月23日(日)	高松	香川県社会福祉総合センター	
選択 司法と福祉の連携とソーシャルワーク	S	17.5	17,400	9月13日(土)～9月14日(日) ※8月16日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
				11月1日(土)～11月2日(日)	東京	ビジョンセンター東京京橋	
選択 社会保障の制度と課題	S	17.5	17,400	6月21日(土)～6月22日(日) ※6月1日以降に出願の方は申込できません。	東京	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	
				7月26日(土)～7月27日(日) ※7月1日以降に出願の方は申込できません。	福岡	福岡県中小企業振興センター	
選択 基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	S	17.5	17,400	7月5日(土)～7月6日(日) ※6月16日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
				10月4日(土)～10月5日(日)	大阪	新大阪丸ビル別館	
				1月10日(土)～1月11日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル(予定)	
選択 多様なニーズに応える特別支援教育	S	17.5	17,400	5月24日(土)～5月25日(日) ※5月1日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
				9月6日(土)～9月7日(日) ※8月15日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
				9月20日(土)～9月21日(日) ※9月1日以降に出願の方は申込できません。	神戸	神戸ファッションマート	
必修 精神・発達障害者の理解と共働(注1)	S	17.5	27,400	1月17日(土)～1月18日(日)	名古屋	ウインクあいち	

履修証明プログラムを終了するには、合計 60 時間以上の履修が必要となります。60 時間以上を満たしていない場合は、次年度に不足時間分の履修が必要となります。

合計時間数 (登録欄に○をつけた科目の合計時間数を記入ください)	時間
-------------------------------------	----

(注1) 履修要件があります。履修要件については募集要項をご確認ください。クラス制開講科目となります。

※**必修**：必修科目 **選択**：選択科目

※開講形態 O：オンデマンド科目(e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1日目9：00～19：40、2日目9：00～18：25

2025年度 履修証明プログラム(科目等履修生)履修科目登録表

2-2

※は記入しないでください。

※学籍番号		※受験番号	25
-------	--	-------	----

氏 名	
-----	--

【認知症とともに生きるを支える】

受講する科目の登録欄に○を付け、合計時間数をご記入ください。

科目名	開講形態	時間数(h)	受講料(円)	開講日	開講地	会場	登録欄
☐ 選択 高齢者の心理※1	T	—	12,400	—	—	—	
☐ 選択 死生学※1	T	—	12,400	—	—	—	
☒ 必修 認知症の医療とケア	O	11.25	12,400	—	—	—	
☐ 選択 高齢者福祉	O	11.25	12,400	—	—	—	
☐ 選択 権利擁護と成年後見	O	11.25	12,400	—	—	—	
☐ 選択 精神障害者支援論	O	11.25	12,400	—	—	—	
☐ 選択 ケアマネジメント入門(隔年開講)	S	17.5	17,400	—	—	—	
☐ 選択 認知症ケアと多職種連携	S	17.5	17,400	5月17日(土)～5月18日(日) ※4月16日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
				7月12日(土)～7月13日(日) ※6月15日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
☒ 必修 認知症のひと地域包括ケア(注1)	S	17.5	27,400	6月28日(土)～6月29日(日) ※4月1日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	ウイंकあいち	

※1 履修証明の時間数の合計には含まませんが、履修を推奨する科目です

履修証明プログラムを終了するには、合計 60 時間以上の履修が必要となります。60 時間以上を満たしていない場合は、次年度に不足時間分の履修が必要となります。

合計時間数 (登録欄に○をつけた科目の合計時間数を記入ください)	時間
-------------------------------------	----

(注1) 履修要件があります。履修要件については募集要項をご確認ください。クラス制開講科目となります。2025年4月1日(火)以降に出願する方は、必修科目「認知症のひと地域包括ケア」を2025年度中に履修できません。プログラムの修了に必ず2年かかりますので、ご注意ください。

※☒ 必修：必修科目 ☐ 選択：選択科目

※開講形態 T：テキスト科目、O：オンデマンド科目(e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1日目9：00～19：40、2日目9：00～18：25

2025年度 履修証明プログラム(科目等履修生)履修科目登録表

②-3

※は記入しないでください。

※学籍番号		※受験番号	25
-------	--	-------	----

氏 名	
-----	--

【アクションと生きる人への理解とかかわり】

受講する科目の登録欄に○を付け、合計時間数をご記入ください。

	科目名	開講形態	時間数(h)	受講料(円)	開講日	開講地	会場	登録欄
☐	精神医学からみたアクション※1	T	—	12,400	—	—	—	
☒	アクションとソーシャルワーク	O	11.25	12,400	—	—	—	
☐	ソーシャルワークの理論と方法(精神)	O	22.5	24,800	—	—	—	
☐	精神障害者支援論	O	11.25	12,400	—	—	—	
☐	アクション領域における経験を有する援助者の支援論	O	11.25	12,400	—	—	—	
☐	精神障害者と福祉実践Ⅰ	S	17.5	17,400	5月17日(土)～5月18日(日) ※4月16日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館	
					10月11日(土)～10月12日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
☐	精神障害者と福祉実践Ⅱ	S	17.5	17,400	7月26日(土)～7月27日(日) ※7月1日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館	
					11月1日(土)～11月2日(日)	オンライン	Zoom	
☐	司法と福祉の連携とソーシャルワーク	S	17.5	17,400	9月13日(土)～9月14日(日) ※8月16日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
					11月1日(土)～11月2日(日)	東京	ビジョンセンター東京京橋	
☒	アクションと生きる社会を考える(注1)	S	17.5	27,400	1月17日(土)～1月18日(日)	名古屋	ウイंकあいち	

※1 履修証明の時間数の合計には含みませんが、履修を推奨する科目です

履修証明プログラムを終了するには、合計 60 時間以上の履修が必要となります。60 時間以上を満たしていない場合は、次年度に不足時間分の履修が必要となります。

合計時間数 (登録欄に○をつけた科目の合計時間数を記入ください)	時間
-------------------------------------	----

(注1) 履修要件があります。履修要件については募集要項をご確認ください。クラス制開講科目となります。

※**必修**：必修科目 **選択**：選択科目

※開講形態 T：テキスト科目、O：オンデマンド科目(e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1日目9：00～19：40、2日目9：00～18：25

2025年度 履修証明プログラム(科目等履修生)履修科目登録表

2-4

※は記入しないでください。

※学籍番号		※受験番号	25
-------	--	-------	----

氏 名	
-----	--

【災害ソーシャルワークの実践と展開】

受講する科目の登録欄に○を付け、合計時間数をご記入ください。

科目名	開講形態	時間数(h)	受講料(円)	開講日	開講地	会場	
☐ 環境論※1	T	—	12,400	—	—	—	
☐ 災害復興の制度と法※1	T	—	12,400	—	—	—	
☐ 地域福祉と包括的支援体制	O	22.5	24,800	—	—	—	
☐ ヒューマンケアのための多職種連携	O	11.25	12,400	—	—	—	
☐ ふくしと減災コミュニティ	O	11.25	12,400	—	—	—	
☐ 福祉現場の人材養成	S	17.5	17,400	9月20日(土)～9月21日(日)	広島	広島国際会議場	
				11月22日(土)～11月23日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル(予定)	
☐ 単身世帯と社会政策	S	17.5	17,400	5月31日(土)～6月1日(日) ※5月1日以降に出願の方は申込できません。	東京	ビジョンセンター東京京橋	
				12月13日(土)～12月14日(日)	オンライン	Zoom	
☒ 地域福祉と災害ソーシャルワーク	S	17.5	17,400	7月12日(土)～7月13日(日) ※6月16日以降に出願の方は申込できません。	金沢	金沢商工会議所	
				8月23日(土)～8月24日(日) ※8月1日以降に出願の方は申込できません。	東京	ビジョンセンター東京京橋	
☒ 被災者支援と福祉防災に向けた実践演習(注1)	S	17.5	27,400	1月17日(土)～1月18日(日)	名古屋	ウインクあいち	

※1 履修証明の時間数の合計には含まませんが、履修を推奨する科目です

履修証明プログラムを終了するには、合計 60 時間以上の履修が必要となります。60 時間以上を満たしていない場合は、次年度に不足時間分の履修が必要となります。

合計時間数 (登録欄に○をつけた科目の合計時間数を記入ください)	時間
-------------------------------------	----

(注1) 履修要件があります。履修要件については募集要項をご確認ください。クラス制開講科目となります。

※☒ 必修：必修科目 ☐ 選択：選択科目

※開講形態 T：テキスト科目、O：オンデマンド科目(e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1日目9：00～19：40、2日目9：00～18：25

年 月 日

日本福祉大学学長 殿

2025 年度 推 薦 状

下記の出願者について、日本福祉大学福祉経営学部（通信教育）履修証明プログラム（科目等履修生）への入学を強く希望しておりますので、推薦します。

記

2025 年度入学希望者氏名 _____

1. 推薦者の方と入学希望者の関係

--

2. 推薦理由（可能な範囲で結構ですので、本人の学習意欲・志望動機などについて、記入してください。）

--

3. 推薦者

在学時学籍番号			
同窓会員ID番号 （同窓生のみ）		卒業年月 （同窓生のみ）	年 月
推薦者氏名	（旧姓）		
学部学科名	学部		学科
現住所（自宅） 電話番号	〒 TEL（ ） —		
勤務先名称			

※本学教職員は、勤務先名称に所属を記載してください。

（ご利用される方は次のページも必ずお読みください）

(ご利用される方は必ずお読みください)

日本福祉大学同窓会員推薦による学費等の減免について

日本福祉大学福祉経営学部（通信教育）

2025 年度の出願者および入学者を対象に、日本福祉大学同窓会員推薦制度を適用しております。この制度を用いて、下記のとおり出願手続きを行えば、学費等が減免されます。

1. 学費等の減免について

- 日本福祉大学同窓会会員・準会員（教職員・本学在学学生等（※2））および日本福祉大学同窓会員に準ずる者（※3）、の推薦があり入学する場合は、入学選考料が無料になり、入学金が半額となります。

※1 ただし、推薦者と同一年度の入学は対象としません。

※2 「本学在学学生」とは、通信教育課程正科生、通学課程、大学院課程に在学している学生すべてを指します。「教職員」とは、退職された方も対象となります。

※3 日本福祉大学同窓会会員に準ずる者は次に掲げる者とする。

- 1 日本福祉大学非常勤講師
- 2 株式会社エヌ・エフ・ユー職員
- 3 その他本通信教育課程が認める者

（「通信教育課程が日本福祉大学同窓会会員に準ずる者を定める内規」より）

※4 科目等履修生や特修生の方は対象外となります。

2. 推薦の条件について

- (1) 学習目標が明確で、学習意欲が高い方。
- (2) 入学後も推薦者と連携をとり、日常的に学習や学生生活等のアドバイスが受けられる方。
- (3) 正科生を卒業後は、日本福祉大学同窓会へ入会し、推薦者と共に日本福祉大学同窓会の諸活動に積極的に貢献する方。

3. 手続き方法について

- (1) 本書表面の「③推薦状」を推薦者直筆でご記入のうえ、出願必要書類に同封して郵送してください。出願後の提出は受付致しかねます。
- (2) 推薦状を同封する場合、入学選考料が免除されますので、選考料の振り込みは必要ありません。
(入学金は、大学からの請求時に半額とします。)
- (3) コピー不可。本学所定用紙の受付に限ります。

4. 推薦状の記入について

- (1) 同窓生の方は、日本福祉大学同窓会員 ID 番号を必ず記入してください。1985 年以降の卒業生の方は、在学時の学籍番号が同窓会員 ID 番号です。番号がわからない場合は、日本福祉大学同窓会事務局（電話：052-242-3051 または電子メール：alumni@ml.n-fukushi.ac.jp）まで、お問い合わせください（事務取扱時間は、月～金曜日 10:00～15:00）。
- (2) 推薦理由は、上記 2. の条件を満たしていることを説明する内容を、明記してください。

(封筒の表面に張りつけてお使いください)

速達

郵便局の窓口へお持ちいただき、速達と簡易書留の送付手続きを行ってください。

4

7

0

3

2

9

5

愛知県知多郡美浜町奥田

日本福祉大学 通信教育部事務室
履修証明プログラム（科目等履修生）入学担当 行

折曲厳禁

簡易書留

2025年度履修証明プログラム（科目等履修生）
出願書類在中

フリガナ 氏 名		※本学記入欄 25
住 所	〒 —	TEL () —

出願書類に不備があると、受付できません。

※事前に必ず提出する出願書類を確認し、チェック欄に✓印を記入して、封入（のり付け）してください。
※不着等の事故を防止するため、必ず「速達・簡易書留」で郵送してください。
※簡易書留の控えは、出願書類受付票を受け取るまで保管してください。
※① -1 入学志願書・在学誓書の捺印を確認してください。 ※本学所定用紙は折り曲げないでください。
※この封筒は、2025 年 9 月 1 日以降は使用できません。

出願書類チェックリスト		チェック欄	大学記入欄
必須	① -1. 2025 年度入学志願書（学籍原簿）・在学誓書（写真貼付・捺印）		
必須	① -2. 2025 年度入学志願書（学籍原簿）・在学誓書（検定料振込証明貼付）		
必須	① -3. 2025 年度履修証明プログラム（科目等履修生）志望理由書		
該当する箇所 必須	② -1. 2025 年度履修証明プログラム（科目等履修生）履修科目登録表【精神・発達障害者の就労と生活支援】		
	② -2. 2025 年度履修証明プログラム（科目等履修生）履修科目登録表【認知症とともに生きるを支える】		
	② -3. 2025 年度履修証明プログラム（科目等履修生）履修科目登録表【アディクションと生きる人への理解とかかわり】		
	② -4. 2025 年度履修証明プログラム（科目等履修生）履修科目登録表【災害ソーシャルワークの実践と展開】		
該当者のみ提出	③ 2025 年度 推薦状		
必須	④ 郵便はがき（郵便番号・住所・氏名記入）		
必須	Ⓐ 入学資格証明書類		
該当者のみ提出	Ⓑ 姓名変更を証明する書類		
該当者のみ提出	Ⓒ 卒業生、もしくは在籍していた証明書（卒業証明書（学位記）・学生証・科目等履修生証・特修生証のコピー、在籍期間証明書、科目等履修生修了証・特修生修了証のコピー、同窓会カードのコピー等）		